



2017年日本語教育学会秋季大会（朱鷺メッセ）

チャレンジ支援企画 - 「わかば」なあなたに-

チャレンジ支援委員会では、昨年度に引き続き、大会会場で「わかば」なあなたが参加できる3つの特別プログラムを用意しました。ぜひご参加ください！



「わかば」なあなたとは（非会員も大歓迎）

- * 日本語教育を学ぶ大学生・大学院生の方
- * 日本語教育に関わり始めたばかりの方
- * 日本語教育の経験は長いけど、研究を始めたばかりの方、研究をやってみみたい方など…

わかば・コンシェルジュ

◆11月25日(土)12:00-14:45, 11月26日(日)9:00-13:30 朱鷺メッセ 2階ホワイエ(大会受付横)
「どこでどんな発表をしているの?」「どこに行けばいい?」など、「わかば」なあなたの素朴な疑問になんでもお答えします。お気軽にお立ち寄りください。

わかばさんいらっしゃい

◆11月25日(土)12:10-12:55 朱鷺メッセ 2階203-204

「わかば」なあなた向けに大会の内容をダイジェストでご紹介するオリエンテーション。開会式会場までご案内もします! 申込・受付不要。ぜひ昼食持参でお越しください。

ぷらさ da わかば

◆11月26日(日)12:10-13:20 朱鷺メッセ 2階203-204

皆さんの少し先を歩いている「センパイ」と出会い、研究や実践、キャリアの相談など、一対一で40分間自由に対話してみませんか。当日11月26日(日)9:00から大会受付に併設する「わかば・コンシェルジュ」で申し込みを先着順(定員:16名)で受け付けます。センパイの詳細は次ページをご覧ください。

※最新情報は、日本語教育学会 twitter (@NKGkouhou), Facebook (公益社団法人日本語教育学会) で!

問合先: 公益社団法人日本語教育学会 チャレンジ支援委員会 E-mail: challenge@nkg.or.jp
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F TEL: 03-3262-4291



ぷらさ da わかば センパイリスト

《日時》2017年11月26日（日）12：10～13：20

《会場》朱鷺メッセ2階203-204（日本語教育学会秋季大会会場）

《申込》当日11月26日（日）の9：00より大会受付横「わかば・コンシェルジュ」にて先着順。

	お名前・ご所属 (敬称略・50音順)	プロフィール
1	いしざわ とある 石澤 徹 東京外国語大学	音声や語彙の習得とその指導に関心があります。現在は、大学進学予備教育に携わっており、何ができるか考える毎日です。授業も研究も、そして学会での一期一会も、すべてが学びの機会になると感じています。
2	いとう すけろう 伊東 祐郎 東京外国語大学	留学生をはじめ、生活者としての外国人や外国につながる子どもを対象とした日本語教育に取り組んでいます。以前に米国と中国の大学、また放送大学等で日本語を教えてきました。現在、会話テストを開発しています。
3	おたち くりえ 御館 久里恵 鳥取大学	大学で留学生への日本語教育や日本語教員の養成等を行っています。学生時代から地域の日本語活動に参加し、現在も関わりを続けています。研究では、大学・地域の現場での教室談話やインタビューを分析しています。
4	かねこ しろう 金子 史朗 友国際文化学院	日本語教育に携わってこのかた日本語学校一筋でやってきました。授業、教材作りの他、教員養成、研修会運営、学校事務、学生募集などに関わり、学習者、教員の双方にとって良い環境を作ることに取り組んでいます。
5	きたむら ゆうと 北村 祐人 文化庁	文化庁国語課で日本語教育を専門とする専門職の1人です。これまで地域日本語教育や教員養成に携わり、現職に至りました。現在の職場では、色々な現場での日本語教育に触れることができ、刺激的な日々を送っています。
6	こぐち ゆきこ 小口 悠紀子 首都大学東京	学部から日本語教育を専攻。地域日本語教室を出発点に、マレーシア（国際交流基金）など5カ国で教える。専門は習得。「日本語教師を目指すのをやめた」同級生をきっかけに、魅力を伝えられる教員を目指しています。
7	こんどう ゆみこ 近藤 裕美子 元国際交流基金 派遣専門家	帰国したばかりですが、これまで主に海外の日本語教育に関わってきました。米国、タイ、モロッコ、フランス、アイルランド、スペイン、それぞれの土地にはそれぞれの日本語教育があり、その多様性の中で仕事をさせていただいたことが「宝」です。
8	さいた いずみ 才田 いずみ 東北大学	職場では日本語教員養成に携わっています。日本語を教える現場には、ずっとご無沙汰しているくせに、科研費を得てICT利用の教材開発を細々と行っています。
9	さくまみのり 佐久間 みのり 横浜デザイン学院	大学で日本語教育を専攻し、ポップカルチャー好きのユニークな学生たちが集まる日本語学校で非常勤講師→専任講師→教務主任という道をたどりました。現在では日本語教育を学ぶ学生のインターンシップ・教育実習の受け入れもしています。
10	さわべ ゆうこ 澤邊 裕子 宮城学院女子大学	韓国の日本語教育と日本の韓国語教育をつなぐ交流学习の実践、研究をしてきました。最近では日韓の言語教育現場のフィールドワークを行い、言語教育の場に教師たちが存在する意義について日々考えています。

※センパイリストは次ページに続きます。



ぷらさ da わかば センパイリストつづき



	お名前・ご所属 (敬称略・50音順)	プロフィール
11	<small>たけ かずみ</small> 武 一美 NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ	神奈川のNPOで、外国につながる高校生への支援事業に携わっています。日本語を教えることに限定されない支援活動や、地域支援者・団体・学校・行政等とのネットワークに関心を持って、取り組んでいます。
12	<small>ただこゝろ きいこ</small> 田所 希衣子 外国人の子ども・サポートの会	成人対象の日本語ボランティアとして17年活動後、2005年に「外国人の子ども・サポートの会」を設立しました。組織運営と生徒とサポーターのコーディネーターを担当しています。
13	<small>にしの あい</small> 西野 藍 国際交流基金	協力隊で中国、その後、関西国際センター専門員に。国内で様々な研修を担当し、また派遣専門家としてタイの教員養成にも携わりました。現在は日本語試験センターの研究員です。遠く離れた地で日本語を学び教えている人々との出会いは、海外日本語教育支援の醍醐味です。
14	<small>ふじもと</small> 藤本 かおる 武蔵野大学	日本語教育でのIT利用、また、サブカルチャーを授業に取り入れる試みも行っています。専門学校卒で就職、海外遊学後日本語教師として働きながら通信制大学卒業、大学院へ。キャリアパスのご相談もお気軽にどうぞ。
15	<small>ほそかわ ひでお</small> 細川 英雄 言語文化教育研究所	国語教員養成から留学生のための日本語教育に携わり、その後、大学院日本語教員養成にも関わりました。言語から人間へ、日本語教育と国語教育を結び、ことば・文化・社会の言語文化教育をめざしています。
16	<small>まつもと はるか</small> 松本 明香 東京立正短期大学	短大で日本語教育を続けて14年。社会と繋がり、一市民として社会に提言する力の育成について考えています。この数年は「防災を学ぼう」というテーマで留学生・日本人学生共修の日本事情クラスを実践しています。

以上